

## 【最優良賞】

「使用済み廃発泡スチロール製フロートの再資源化および国内グループ会社を含む環境教育テキストを用いた社内教育活動」

積水化成品工業株式会社 様

プラ工連の環境委員会は、海洋プラスチック問題解決に向けた「宣言活動」に関連して募集した「具体的な取り組み事例」の中から、特に優良な事例として積水化成品工業株式会社様の取り組みを「最優良賞」として選定いたしました。

この度第44回プラ工連環境委員会(2022年2月22日実施)において、下記のように表彰式を実施いたしました。



積水化成品工業株式会社様への表彰式の様子（2022年2月22日プラ工連）

左から、小松委員長、加藤専務理事、積水化成品工業様

## 【取り組みの紹介】

### (1) 使用済み廃発泡スチロール製フロートの再資源化

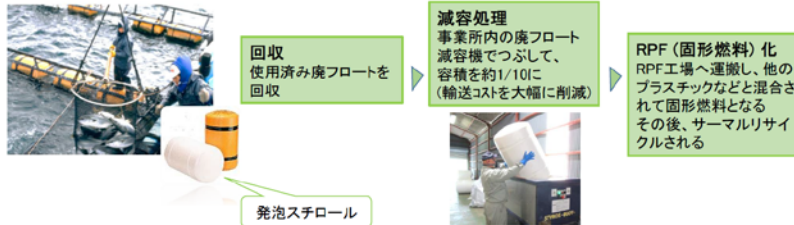
積水化成品工業株式会社様は、使用済みの廃フロートを回収し、輸送合理化（エネルギー削減）の為に減容処理を行った後に、RPF等に利用し効率的なエネルギー回収を行っている。瀬戸内海の広域に展開を図っている本取り組みは、プラ工連環境委員会として、海洋プラスチック問題解決に向けて大きく貢献しているものと考えている。

また化石燃料代替等に向けた RPF等の活用は、今日重要なアイテムとなっており、カーボンニュートラルの観点からも先進的な取り組みであると考えている。

<http://www.jpif.gr.jp/9sengen/conts/file/sekisukasei.pdf>



分類	使う・戻す	団体名	積水化成製品工業株式会社
取組名称	使用済み廃発泡スチロール製フロートの再資源化		



【取組内容】

海洋ごみになりにくい製品の開発や、その再資源化に取り組んでいます。その一つに、グループ会社の（株）積水化成製品四国では、2018年、愛媛県から産業廃棄物処分業と運搬業の許可を取得し、「養殖いかだ」等で使用されていた発泡スチロール製フロート（廃フロート）の回収およびリサイクルをスタートさせました。

現在、回収地域を拡大し、瀬戸内海の広域での再資源化を展開しています。



詳しくは・・・  
<http://shikoku.sekisuiplastics.co.jp/product/fishery.html>

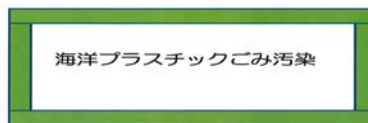
(2) 国内グループ会社を含む環境教育テキストを用いた社内教育活動

また積水化成製品工業株式会社様は、「国内グループ会社を含む環境教育テキストを用いた社内教育活動」を合わせて実施している。再資源化の取り組みに併せてこのような社内教育を実施していることは、海洋プラスチック問題解決に向けた社員全体に対する啓発活動として、大変効果的であると認められる。

ACC 等が推進し日本プラスチック工業連盟も賛同している樹脂ペレット創出防止の「Operation Clean Sweep(OCS)活動」では、社員教育（意識啓発）も取り組むべき重要要素として規定されており、今回の社内教育活動とも呼応する基本的な考えである。

<http://www.jpif.gr.jp/9sengen/conts/file/sekisui-kasei-file.pdf>

環境教育テキスト 3



長崎県対馬市クジカ浜における漂着物の一部  
2016年度環境省 漂着ごみ調査報告書より

